

**建設業で働くための  
18歳のハローワーク**

「18歳のハローワーク」の「18歳」のページ

**建設工事は、建築と土木の2つに大きく分かれる**

「建築」と「土木」、世間ではあまり区別されていませんが、仕事の内容には大きな違いがあります

さらに詳しく

**「専門工事」の仕事一人前っていつ?**

建設工事では、特化した技能が必要になる複数の専門工事があります。

さらに詳しく

**自分が暮らす地域の建設企業を探す**

建設業の会社は日本全国にあります。まずは、自分の暮らす地域にどんな建設会社があるか調べよう。

只今調査中

**知っている？  
建設工事は、建築と土木の2つに大きく分かれる**

建設業は大きく分けると「土木」と「建築」に区分され、仕事の内容には大きな違いがあります。土木工事は、道路やトンネル、河川や橋、水道などのインフラ整備（社会資本整備）があり、私たちが生活するために必要な生活基盤を整備する工事です。その多くは、公共工事として発注されています。

一方、建築工事は、住宅・学校・病院などの建物を建築する工事になります。

また、建設業は、工事内容や施工方法の違いから28業種に区分されており、そのうち土木一式工事で建築一式工事は「総合的な企画・指導・調整のもとに土木または建築工物を建設する工事」と定義されています。土木一式工事または建築一式工事を請け負うものを総合建設業者（ゼネコン）と呼びます。その他の26業種については、大工工事や鉄筋工事などの専門的な工事を請け負う専門工事業者に分類されます。



**「建築」の仕事**  
オフィスビル、商業施設、複合開発に至るまで、街づくりで未来を築く業種

> 建築一式工事



**「土木」の仕事**  
道路、トンネル、河川、橋まで国土の基盤を整備し、生活を支える業種

> 土木一式工事



ページトップへ

**「総合事業者」と「専門事業者」とは**

建設工事は、全体の施工管理を行う総合事業者と、鉄筋、型枠大工などの躯体工事、左官、塗装などの仕上げ工事、空調、給排水などの設備工事などを行う各種専門事業者が、建設するものに応じたチームを組んで、一体となって仕事をしています。



**「専門工事」の仕事  
職種は26業種（平成26年8月現在）  
一人前っていつ?**

専門事業者とは、総合建設業者（工事全体の施工管理等を行う者）と連携して、それぞれ特化した技能により建築・土木工物をつくり上げていくスペシャル集団です。その専門性により26業種に区分されており、現在、そのうち7業種を紹介していますので、実際の建設現場でのそれぞれの役割・仕事内容や自分が職人になった際の姿等を照らし合わせて想像してみてください。（職種は順次拡充予定）



18歳のハローワーク 建設で働くための このサイトについて **建築の仕事、土木の仕事** 専門工事業の仕事

## 建築一式工事

けんちくいっしきこうじ

建築一式工事は、総合的な企画、指導、調整のもとに建築物（住宅、学校、病院、ビルなどの建物）を建設する工事であり、複数の専門工事を組み合わせて施工する建設工事になります。建設工事が安全かつ予定通りに進行するように、建築現場で働くさまざまな専門工業者（大工工事、塗装工事、内装工事など）を統括するのが主な仕事になります。（現場所長、現場監督など）

[この業種を詳しく見る](#)

**志賀 大祐** 入職2年目（2級建築士）  
菅原建設株式会社／茨城県水戸市




**現場に入る複数の専門業者に対して  
指導・監督業務を担っています。**

### 設計図通りの施工を証明するための写真を撮影

祖父と伯父が建設関係の仕事に従事していたこともあり、小さい頃から「カッコいい、男らしい仕事だな」と憧れていたんです。中学の時に進路を建設業界と定め、茨城県立水戸工業高等学校建築科に入学。卒業後は水戸日建工科専門学校に通って2級建築士の資格を取得しました。

建築一式の仕事は、建物の建設に携わる複数の専門業者さんに対して指導・監督を行う業務を担っています。具体的には、図面や工程表をもとに専門業者さんの手配から、作業に関する指示、進行状況の確認、施主さんへの報告書の作成など多岐にわたります。設計図通りに施工が進んでいるかを証明するための写真撮影も仕事の一つです。



更地だったところから基礎をつくり、地盤を固めてから建物を建てていく。現場監督の仕事は、工事の最初から最後まで立ち会う仕事。



現場で設計図面を見ながら進捗度合いを確認する志賀さん。進み具合はその都度カメラで撮影し、施主への報告書に添付している。

### ゼロだったものが徐々に形になっていく

入社2年目ですが、これまでに大小4件の現場に携わりました。現在は、あるカーディーラーさんの営業所移転のための新築工事を担当しています。更地だったところを掘り起こして、鉄筋を組んでコンクリートを流し入れて固めてといった基礎工事が終わると次に建屋の建築工事になります。専門知識を駆使して、ゼロだったものが徐々に形になっていくのを間近で見られるのは感動しますよ。

もちろん思ったように行かないことも多く、苦労することもあります。しかし、建物が無事に竣工した時はうれしく思います。また、上司や先輩から「よくやったな」と温かい言葉をかけられると、本当にやりがいを感じます。



左/仕事は、事務所内と屋外の現場で行います。事務所内ではPCに向き合うことが多く、CADに関する知識が必須事項。右/設計図面通りに施工されているかどうか、各種メジャーや定規などを駆使して細かくチェック。



### 現場の安全第一も重要な仕事

現場では、私が一番の若年者です。朝の日課である朝礼では、私の父親や祖父ほどの年長の方々に前に、本日の作業内容を確認したり、段取りを説明したりといった連絡事項を伝えます。朝のニュースで「午後は雨になる」といった天気予報を入手したら、「作業中に雨になることも考えられます。路面が滑りやすくなるので、皆さん十分に注意してください」といったKY（危険予知）に関する話をすることもあります。夏場なら「水分補給、塩分補充を忘れずに行ってください」といった注意喚起が欠かせません。現場の安全を守ることも私の重要な仕事なんです。

建築一式の仕事をやってみたいという若い人にアドバイスするとしたら、パソコンで図面を作成することが多いので、CADソフトの扱いに慣れておくこと。奥の深い世界ですが、知れば知るほど面白くなっていきます。パソコンが好きなら向いているかもしれないですね。



18歳のハローワーク
このサイトについて 建築の仕事、土木の仕事 > 専門工事業の仕事

**「専門工事業」の仕事**  
**職種は26業種**  
(平成26年8月現在)  
**一人前っていつ？**

専門工事業者とは、総合建設業者（工事全体の施工管理等を行う者）と連携して、それぞれ特化した技能により建築・土木工作物をつくり上げていくスペシャル集団です。その専門性により26業種に分かれており、現在、そのうち7業種を紹介していますので、実際の建設現場でのそれぞれの役割・仕事内容や自分が職人になった際の姿等を照らし合わせて想像してみてください。（職種は順次拡充予定）



大工工事(型枠大工)



左官工事



とび・土工・コンクリート工事  
(とび)



とび・土工・コンクリート工事  
(土工)



とび・土工・コンクリート工事  
(基礎工事)



電気工事



鉄筋工事



塗装工事



造園工事

**大工工事(型枠大工)** だいくこうじ  
(かたわくだいく)

この業種を詳しく見る

鉄筋コンクリートの建物を建てる場合、型枠という器を組み立て、そこにコンクリートを流し込んでいく手順が必要になる。型枠大工とは、その枠をつくる職人のこと。コンクリートが固まったら型枠を外すまでが一連の流れ。一口に型枠といっても外壁、柱、梁(はり)、内壁、床用などがあり、建物の規模によって種類も異なる。鉄筋コンクリートの建造物の強度を支える重要な要素の一つが、型枠大工の熟練の技術になる。

入職6年目

完成した大きな建物を下から見上げる心から「やり遂げたな」と感じますね。

仕事を語る

準備中

準備中

▶ サイトポリシー ▶ ページトップへ

Copyright © 建設産業人材確保・育成推進協議会 All Rights Reserved. 本サイトに掲載されている記事・写真・図表などの転載を禁じます

18歳のハローワーク
このサイトについて 建築の仕事、土木の仕事 - 専門工事業の仕事

## 大工工事（型枠大工）

だいくごうじ（かたわくだいく）

鉄筋コンクリートの建物を建てる場合、型枠という器を組み立て、そこにコンクリートを流し込んでいく手順が必要になる。型枠大工とは、その枠をつくる職人のこと。コンクリートが固まったら型枠を外すまでが一連の流れ。一口に型枠といっても外壁、柱、梁（はり）、内壁、床用などがあり、建物の規模によって種類も異なる。鉄筋コンクリートの建造物の強度を支える重要な要素の一つが、型枠大工の熟練の技術になる。

この業種を詳しく見る

**眞砂裕己** 入社6年目（型枠支保工の組立て等作業主任者）

三成建設株式会社（東京都武蔵野市）





完成した大きな建物を下から見上げると心の底から「やり遂げたな」と感じますね。

### 型枠を取り外す作業は毎回緊張する

建物を安定させるために地盤に杭を打ち込む杭打ち作業が終わると、型枠大工の出番です。単純に現場で型枠を組み立てれば良いというものでもなく、あらかじめ施工図面を見ながら柱、壁、梁などの形状、寸法、数量を計算して加工図を作成します。次に加工場で加工図に合わせて各パーツを作り、現場に運んで組み立てる。建物によって形状や寸法は全部異なるので毎回オーダーメイドのようなものですね。

型枠の中へ流し込んだコンクリートが固まったら、次は型枠を取り外す作業です。このときに思った通りの仕上がりになっているとうれしいですよ。何年やっても毎回緊張する瞬間です。



専用のハンマーを使ってコンパネと呼ばれるコンクリートパネルの位置を調整する眞砂さん。

### 豪快かつ繊細な仕事ぶりに憧れて

子どもの頃、父の職業は戸建住宅を作るような普通の大工だと思っていました。高校の時に父の勤務先でアルバイトをすることになって建築現場に行ったら、巨大なビルで、その規模の大きさに衝撃を受けたんです。大勢の職人さんや作業員の方々が働いて、そこで初めて父の職業が型枠大工だと分って……。豪快かつ繊細な仕事ぶりに憧れて「父と同じ道を歩みたい」と思うようになったのです。

この仕事に就いて丸6年、今回の現場では職長という大役を任せられました。職長とは、いわばチームリーダーのようなもの。型枠大工だけで10名という大所帯で、全員が私より年上ですが、先輩方のサポートを受けつつ頑張っています。



左／作業中は鉄のパイプを担ぐこともあるが、コツさえ掴めば、それほど重く感じないそうだ。



右／型枠大工の仕事道具。ハンマー、ドリル、のこぎりなどが必須アイテム。

### いつかは父を超える職人になりたい

この仕事のやりがいは、やはり達成感だと思います。私が携わった仕事の多くが地域のランドマークとなるような高層ビルや施設。一つの現場が竣工し、完成した立派な建物を下から見上げると、心の底から「やり遂げたな」と感じます。これはたぶん、普通のサラリーマンの人たちにはない感覚かもしれません。

体力的には大変なことが多い仕事ですが、続けていれば自然と体力もつくし、いろんな現場を体験できるので仕事がマンネリ化することはなく、毎日が充実しています。まだまだ覚えることも多いですが、いつかは父を超えたいし、日本を代表する型枠大工になるように日々努力したいですね。



東武ビル 4丁目第2地区再開発